

【ルーブリック】

授業科目〔卒業研究Ⅰ（４年生前期／演習科目／卒業必修）〕

到達目標	・教材開発に関わるインストラクショナルデザイン等の教育工学的知識を習得することができる。 ・習得した知識と技能を基に、教材の目的、ニーズ、方法論、表現手法への理解を深めることができる。 ・子どもを対象に遊び、教育、学習の観点から、教材の役割と意義を理解し、教材開発を行うことができる。
------	--

	内容・項目		レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
1	知識・理解	教材開発に関わるインストラクショナルデザイン等の教育工学的知識の習得	教材開発に関わるインストラクショナルデザイン等の教育工学的知識について、大半の概念を明確に説明することができ、教材開発の方法論として理解している。さらに習得すべき学習や技能の目的に合わせて、教材開発の意義をとらえることができる。	教材開発に関わるインストラクショナルデザイン等の教育工学的知識について、大半の概念を説明することができる。さらに習得すべき学習や技能の目的に合わせて、教材開発の意義をとらえることができる。	教材開発に関わるインストラクショナルデザイン等の教育工学的知識について、ある程度説明することができる。習得すべき学習や技能の目的に合わせて、教材開発の意義をとらえることが部分的にできている。	教材開発に関わるインストラクショナルデザイン等の教育工学的知識について、説明が十分にできない。習得すべき学習や技能の目的に合わせて、教材開発の意義をとらえることが不十分である。
		教材の目的、ニーズ、方法論、表現手法への理解及び教材の開発	・習得した知識と技能を基に、教材の目的、ニーズ、方法論、表現手法への理解が明確にできる。 ・子どもを対象に遊び、教育、学習の観点から、教材の役割と意義を理解し、教材開発を十分にすることができる。	・習得した知識と技能を基に、教材の目的、ニーズ、方法論、表現手法への理解ができる。 ・子どもを対象に遊び、教育、学習の観点から、教材の役割と意義を理解し、教材開発を行うことができる。	・習得した知識と技能を基に、教材の目的、ニーズ、方法論、表現手法への理解がある程度できる。 ・子どもを対象に遊び、教育、学習の観点から、教材の役割と意義を理解し、教材開発を行うことができる程度である。	・習得した知識と技能を基に、教材の目的、ニーズ、方法論、表現手法への理解が不十分である。 ・子どもを対象に遊び、教育、学習の観点から、教材の役割と意義を理解し、教材開発を行うことが不十分ながらできる。
2	論理的思考及び探求		・卒業研究のテーマを設定し、全体の構成ができる。教材の目的を専門的な根拠をもとに自身の意見を述べた上で、現状の問題点や新たな方向性について意見を述べている。 ・卒業研究についてのプレゼンテーションが適切に作成できる。	・卒業研究のテーマを設定し、全体の構成ができる。教材の目的を専門的な根拠をもとに自身の意見を述べている。 ・卒業研究についてのプレゼンテーションが概ね適切に作成できる。	・卒業研究のテーマを設定し、全体の構成ができるが、感想が中心になっている。 ・卒業研究についてのプレゼンテーションが作成できるが、内容の適切さと改善点が同じ程度である。	・卒業研究のテーマを設定し、全体の構成ができるが、用語の説明にとどまり、自身の意見が不十分である。 ・卒業研究についてのプレゼンテーションが作成できるが、内容の適切さより改善点が大いに上回る。
3	態度・志向性	授業内参加	適切に自分の役割を把握し、積極的かつ柔軟な態度で講義内容や授業内の議論に参加している。	講義内容や授業内の議論に関心をもち、積極的に参加している。	講義内容や授業内の議論に対して課題をこなしている感覚が強い。	講義内容や授業内の議論に関心が見られず、やらされている感覚を持つ。
4		ふりかえり	講義内容や自身の授業態度に対して、客観的にふりかえることができ、頻繁に積極的な質疑を行う。	講義内容や自身の授業態度に対して、客観的にふりかえることができ、時には質疑を行う。	学びの方向性については感じているが、講義内容や自身の授業態度に対して、客観的にふりかえることが不十分である。	ほとんどふりかえりや質疑を行わず、学びの方向性が見えない。